

各 位

平成30年8月24日

株式会社 神奈川銀行

独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

神奈川銀行（取締役頭取 三村 智之）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド^(注1)（第52回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^(注2)の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当行では、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資など各種取組みを実施し、今後も持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

〈本債券の概要〉

銘 柄	第52回 日本学生支援債券
年 限	2年
発行額	300億円
発行日	平成30年9月7日

(注1) ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG^(注3)投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として明確に評価されています。

(注2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのことで、

(注3) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉です。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のことで、

以 上

〈本件に関するお問い合わせ先〉
神奈川銀行総合企画部
045-261-2641